

これまでの補足資料から特に選んだもの。

問題集に解説があるので必ず読むこと。

これと、昨年の試験とから合計50問を出題する予定。

表記は回.(年).M(医学医療系)|S(医療情報システム系).Q.問題番号

したがって、例えば、15(2017)MQ3は、第15回(2017年)医学医療系第3問

注意：以下の内容は手で転記したため、転記や解答等の相違については問題集の問題文および解答を優先する。ただし、複数選択問題は単一選択問題に改題して出題する。

15(2017)MQ3

インフォームドコンセントについて誤っているのはどれか、

- 1) 医師法に規定されている。
- 2) 十分な説明が必要である
- 3) ヘルシンキ宣言で明文化された
- 4) 患者が自己選択する権利である
- 5) リスボン宣言で患者の権利として明文化された。

A : 1

16(2018)MQ3

インフォームドコンセントにおける医療者の責務として適切でないのはどれか。

- 1) 事実に基づいて説明する
- 2) 患者・家族に誓約書を書面で求める
- 3) 患者・家族に病状が分かるように説明する。
- 4) 患者・家族が病状説明を理解できたかどうかを確認する。
- 5) 決定した方針は、患者の意向によって変えることができることを説明する。

A : 2

15(2017)MQ1

正しいものを選び

- 1) 個人情報とプライバシーは、同じ意味である
- 2) プライバシーとは、特定の個人を識別する情報である。
- 3) 本人から保有個人情報の開示請求があっても応じる必要はない。
- 4) 個人情報を取得する場合、利用目的を明確にしなければならない。
- 5) 同姓同名者がいるので、氏名は特定の個人を識別する情報ではない。

A : 4

14(2016)SQ8

次のうち「OECDの8原則」に該当しないのはどれか

- 1) 責任の原則
- 2) 公平性の原則
- 3) 利用制限の原則
- 4) 個人参加の原則
- 5) データ整合性の原則

A : 2

16(2018)SQ3

本人の同意なく情報提供が可能なのはどれか。

- 1) 高齢入院患者の病状に関する弟からの問い合わせ
- 2) 乳幼児患者の検査結果に関する母親からの問い合わせ
- 3) 長期欠席児童の病状に関する担任教員からの問い合わせ
- 4) 裁判で係争中の患者の病状に関する証人からの問い合わせ
- 5) 企業の従業員の健康診断結果に関する健康保険組合からの問い合わせ

A : 2

15(2017)SQ2

医療情報の一次利用にあたるのはどれか。

- 1) 医学研究
- 2) 病院経営管理
- 3) 医療政策の立案
- 4) 保健所への報告
- 5) 診療報酬明細書の作成

A : 5

16(2018)SQ2

診療情報の一次利用にあたるのはどれか。

- 1) 病院経営
- 2) 診療報酬請求
- 3) 感染症の流行予測
- 4) 診断や治療方針の決定
- 5) 外来受診患者数の把握

A : 2

16(2018)MQ8

刑法により守秘義務が定められている職種はどれか。

- 1) 看護師
- 2) 助産師
- 3) 保健師
- 4) 管理栄養士
- 5) 臨床心理士

A : 2

16(2018)MQ17

医療法および同施行規則において医療安全管理体制として義務付けられていないのはどれか

- 1) 安全管理指針の整備
- 2) 感染制御体制の整備
- 3) 臨床倫理委員会の設置
- 4) 医療事故等の院内報告体制
- 5) 医療安全に関する職員研修

A : 3

13(2015)MQ15

インシデントレポートについて誤っているのはどれか。2つ選べ

- 1) アクシデントも報告する
- 2) 分析は原因の解明に役立つ

- 3) 当事者による自主的な報告である
- 4) 当事者の処罰のために用いられる
- 5) 患者に不利益が生じなければ報告しなくてよい

A : 4, 5

16(2018)MQ15

m-SHELモデルでアヤマmっているのはどれか。2つ選べ

- 1) m - 経営方針
- 2) S - 手順書
- 3) H - 作業環境
- 4) E - 施設の構造
- 5) L - 人

A : 1, 3

16(2018)MQ16

医療事故調査制度について正しいのはどれか。

- 1) 家族への説明は必ずしも行わなくてよい。
- 2) 個人の責任を追求するための制度である。
- 3) 医療機関で院内調査を行った報告書を提出する。
- 4) 院内調査報告書は厚生労働省が収集・分析する。
- 5) 事故の場合は医療機関の管理者の任意により行う。

A : 3

12(2014)SQ25

医療安全に直接寄与するとはいえない機能はどれか。

- 1) 薬剤の用量チェックを行う機能。
- 2) 患者認証をバーコードで行う機能
- 3) 患者に薬剤を確認してもらう機能
- 4) アレルギー情報が常に確認できる機能
- 5) 時間をさかのぼって実施入力を行う機能

A : 5

13(2015)SQ28

ベッドサイドにおけるバーコードを使った注射実施入力で期待できないのはどれか

- 1) 患者誤認の防止
- 2) 診療録への実施記録
- 3) ミキシングミスの防止
- 4) 医事課への実施情報連携
- 5) ラベル発行後の指示変更検知

A : 3

15(2017)SQ18

医療用医薬品へのバーコード表示の目的でないのはどれか

- 1) 有効期限の明示
- 2) 医薬品価格の明示
- 3) 取り違え事故の防止
- 4) 医薬品流通の効率化

5) トレーサビリティの確保

A : 2

12(2014)SQ14

薬剤オーダの仕様と運用で安全性に問題を生じるのはどれか。

- 1) 薬剤の名称に規格を含める
- 2) オーダをする際に薬剤の禁忌情報が参照できる。
- 3) 薬剤オーダのチェックは薬剤部門システムでも行う。
- 4) 薬剤選択では3文字以上入力しないと候補が出ないようにする。
- 5) 後発医薬品に切り替える際にマスターのコードを変えずに薬剤名を書き換える。

A : 5

13(2015)SQ15

外来化学療法システムの機能として不適切なのはどれか。

- 1) 利用者ごとのアクセス権限を設定できるようにした。
- 2) 抗がん剤の休薬期間をどの医師でも短縮できるようにした。
- 3) 抗がん剤プロトコルの量を超えてオーダできないようにした。
- 4) 体重の計測が一定期間行われないと警告を発するようにした。
- 5) 当日の検査結果を見てから投薬の可否を判定するようにした。

A : 2

12(2014)MQ38

クリニカルパスの適用で得られる効果でないのはどれか。

- 1) 医療の標準化
- 2) 在院日数の短縮
- 3) 新規治療法の開発
- 4) チーム医療の推進
- 5) 医療スタッフの教育

A : 3

12(2014)MQ5

医療保険制度について誤っているのはどれか。

- 1) 被保険者は保険者に保険料を支払う。
- 2) 保険者は審査支払機関に医療費を支払う。
- 3) 被保険者は審査支払機関に医療費を請求する。
- 4) 被保険者は保険医療機関に一部負担金を支払う。
- 5) 審査支払機関は保険医療機関に医療費を支払う。

A : 3

12(2014)MQ7

女性に限定された職業はどれか。

- 1) 保健師
- 2) 助産師
- 3) 看護師
- 4) 認定看護師
- 5) 専門看護師

A : 2

14(2016)MQ10

業務独占でないのはどれか

- 1) 看護師
- 2) 助産師
- 3) 保健師
- 4) 薬剤師
- 5) 准看護師

A : 2

12(2014)MQ8

臨床検査技師が実施できるのはどれか。2つ選べ

- 1) CT検査
- 2) 筋肉注射
- 3) 静脈採血
- 4) 超音波検査
- 5) 内視鏡検査

A : 3, 4

13(2015)MQ39

医師法施行規則で定められていない診療録記載項目はどれか

- 1) 病名
- 2) 治療方法
- 3) 保険者番号
- 4) 診療の年月日
- 5) 診療を受けた者の住所

A : 3

12(2014)MQ41

医療法施行規則で保存期間を定めていないのはどれか

- 1) 診療録
- 2) 処方箋
- 3) 病院日誌
- 4) 手術記録
- 5) X線写真

A : 1

15(2017)MQ13

公共の場における受動喫煙の防止を規定している法律はどれか

- 1) 医師法
- 2) 医療法
- 3) 健康増進法
- 4) 健康保険法
- 5) 社会福祉法

A : 3

12(2014)MQ4

DPCの支払において出来高算定になるのはどれか

- 1) 手術

- 2) 投薬
- 3) 注射
- 4) 検体検査
- 5) 入院基本料

A : 1

12(2014)MQ3

介護保険について誤っているのはどれか

- 1) 介護家族の支援を行う。
- 2) 医療保険の対象とならない。
- 5 4) 高齢者のQOLの向上を目標とする。
- 5) 医療機関と介護機関との連携が重要である。

A : 3

13(2015)MQ29

心臓ペースメーカー装着の確認が必須である検査はどれか

- 1) 心電図検査
- 2) 胸部X線検査
- 3) 上部内視鏡検査
- 4) 心臓超音波検査
- 5) 腹部MRI検査

A : 5

12(2014)MQ22

看護諸記録について誤っているのはどれか。2つ選べ

- 1) 看護記録は診療録開示の対象である。
- 2) 看護記録の作成は法律で義務付けられている。
- 3) 看護記録はSOAPで記載することが望ましい。
- 4) 医療事故発生時の看護記録は経時的に記載する。
- 5) 熱型表（温度版・三測表）は看護師のみが記載する。

A : 2、5

12(2014)MQ27

院内感染管理のために実施する検査項目はどれか。2つ選べ

- 1) 血小板数
- 2) 白血球数
- 3) 抗核抗体
- 4) HB_s抗原
- 5) HCV抗体

A : 4、5

12(2014)MQ11

入院に関する指標について誤っているのはどれか

- 1) 平均在院日数には複数の算出方法がある。
- 2) 外泊期間の日数は入院受診延日数に含まれる
- 3) 外泊期間中の患者は在院患者延数に含まれる
- 4) 平均在院日数は病床利用率の算出に用いられる

5) 平均在院日数は病床回転率の算出に用いられる。

A : 4

12(2014)SQ43

遠隔医療システムを構築する際に共通化しなければならないのはどれか

- 1) VPNプロトコル
- 2) 端末製造メーカー
- 3) 電子カルテシステム
- 4) ディスプレイの解像度
- 5) 医療画像保存参照システム

A : 1

12(2014)SQ46

施設間連携に必須でないのはどれか

- 1) 使用者の認証
- 2) データの保護
- 3) データ形式の標準化
- 4) 同一のデータベース
- 5) 用語・コードの標準化

A : 4

13(2015)SQ60

「どこでもMY病院」構想の目的でないのはどれか

- 1) 重複投薬の防止
- 2) 生活習慣病の予防
- 3) 健康情報の自己管理
- 4) 病院のオンライン連携
- 5) 慢性疾病患者の重症化防止

A : 4

13(2015)MQ25

尿量の測定が必要な検査はどれか

- 1) 尿潜血
- 2) 尿沈渣
- 3) 血清尿酸値
- 4) ヘモグロビンA1c
- 5) クレアチニンクリアランス

A : 5

16(2018)MQ38

超音波検査について誤っているのはどれか

- 1) 空気の存在に影響されない
- 2) 生体に対する侵襲が少ない
- 3) 同画像をその場で観察できる
- 4) 血流の方向・速さを画像家できる
- 5) 肥満の強い症例では観察能力が低下する。

A : 1

12(2014)MQ25

基準範囲の男女差があるのはどれか

- 1) カリウム
- 2) アルブミン
- 3) ナトリウム
- 4) ヘモグロビン
- 5) ヘモグロビンA1c

A: 4

14(2016)MQ50

定量的検査で感度を高くした際に、一般的に高くなるのはどれか。

- 1) 特異度
- 2) 偽陰性率
- 3) 偽陽性率
- 4) 陰性予測率
- 5) 陽性予測率

A: 3

13(2015)SQ9

診療所の医事会計システムに求められる機能として必要性が最も低いものはどれか

- 1) DPCへの対応
- 2) 地方公費への対応
- 3) 医療費改定への速やかな対応
- 4) レセプト電算処理システムへの対応
- 5) 入力情報の欠落や不適切のチェック

A: 1

13(2015)SQ12

患者基本情報として共有する必要がないのはどれか。

- 1) 聴覚障害の有無
- 2) 体内金属の有無
- 3) 薬剤アレルギー歴
- 4) 家族の面会の予定
- 5) 蘇生措置拒否（DNR）の意思表示

A: 4

12(2014)SQ11

実施入力について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- 1) 服薬を確認する機能が必要である
- 2) 清拭などの日常生活援助にも必要である
- 3) 血液検査は検体到着をもって採血実施と判断できる
- 4) 注射薬は払い出しが行われれば実施されたと判断できる
- 5) ベッドサイドの処置は実施入力を行ったあとの実施する必要がある。

A: 4, 5

12(2014)SQ18

輸血部門システムで管理する必要がないものはどれか

- 1) 血液製剤

- 2) 患者輸血歴
- 3) 手術実施記録
- 4) 輸血用自己血
- 5) 患者の血液型検査データ

A : 3

14(2016)SQ18

地域連携システムの目的でないのはどれか

- 1) 薬剤の重複の回避
- 2) 患者のプライバシー保護の強化
- 3) 地域全体としての医療費の抑制
- 4) 病診間、病病間でも連携医療の促進
- 5) 診療情報共有による診療の質の向上

A : 2

14(2014)SQ28

電子カルテを導入する際、最後に行う作業はどれか。

- 1) 導入予算の計画
- 2) 要求仕様書の作成
- 3) 操作マニュアルの作成
- 4) 導入スケジュールの作成
- 5) 導入プロジェクトチームの設置

A : 3

12(2014)SQ26

システム構築における院内調整の要点について誤っているのはどれか

- 1) 検討事項は解決していてもその都度記録を残す
- 2) 導入によって解決したい病院の課題を把握する。
- 3) 業務の継続性を重視して従来の業務フローを踏襲する。
- 4) 一部門のみの利益を優先せず全体最適の視点から検討する。
- 5) まれなケースではシステムのみでの対応にとらわれずに運用も含めて検討する。

A : 3

14(2014)SQ29

調達プロセスにおいて提案依頼書に記載する事項として適切でないのはどれか。

- 1) 単体テスト計画
- 2) システム化の目標
- 3) 開発機器のコスト負担
- 4) 評価プロセスと評価基準
- 5) ハードウェア性能の保証要件

A : 1

15(2017)SQ41

医療情報システムにおける技術的安全対策でないのはどれか

- 1) アクセスの記録
- 2) 盗難、窃視等の防止
- 3) アクセス権限の管理
- 4) 利用者の識別及び認証

5) ネットワークからの不正アクセス防止

A : 2

12(2014)SQ13

再診予約オーダーの機能として適切でないのはどれか

- 1) 設定人数以上の予約の禁止
- 2) 1オーダーでの複数の時間枠取得
- 3) 同一時間帯での重複予約のチェック
- 4) 時間枠単位での予約可能人数の設定
- 5) 予約枠ごとの予約締め切り時間の設定

A : 1